



新室長あいさつ

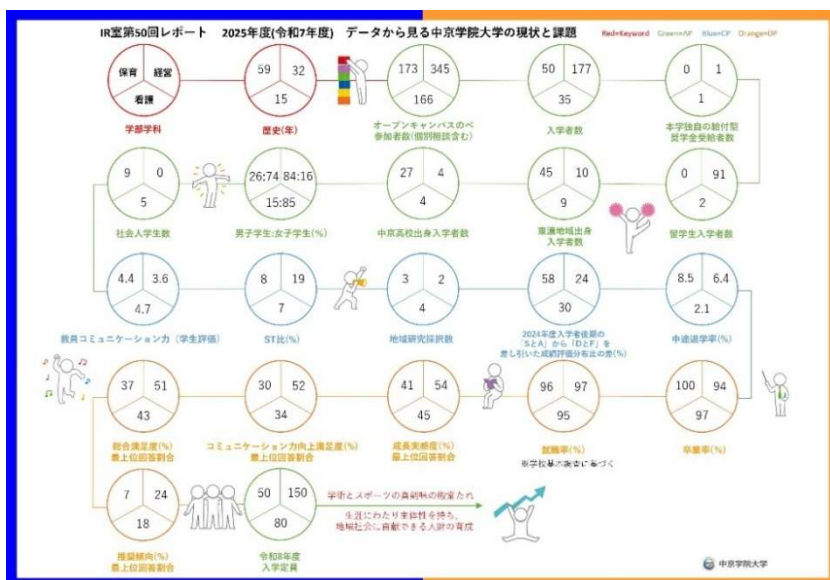
皆さんこんにちは。教学IR室長を務めております林勇人です。宜しくお願い申し上げます。今年で6年目を迎える教学IR室の主な活動は、IRレポート作成と公開、教職員座談会、他大学合同研修会、学内広報誌Bloomin'発刊、学長ワークショップ運営です。このような活動により、IR活動の周知と理解が全学的に深まり、様々な教育活動における学習成果の可視化が進み、教育の質を保証するPDCAサイクルが定着をみせつつあります。

現在では令和9年4月の多治見キャンパス移転に向けて、経営学部、看護学部の新プログラムの開発、短期大学部のオンデマンド教材の充実など、魅力ある教育環境の構築がおこなわれています。環境がいかに変化しようとも、学びの根幹となるのは、建学の精神の中核を成す「真剣味」に基づく教職員の教育力です。この力を継続して高め、各学部の専門性を活かし、ミッション「生涯にわたり、主体性を持ち、地域社会に貢献できる人財」を安定的に輩出できるよう、教学IR活動をさらに重ねていきます。今後一つひとつの課題に真摯に向き合いながら引き続き精進して参りますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

学長（教学IR室長） 林 勇人

Pick Up！ IRレポート

節目となる第50回のIRレポートは、「2025年度データから見る中京学院大学の現状と課題」です。今回は2025年度の総括として、オープンキャンパス参加者数から、入学者数、中退率、そして学生の満足度・成長実感まで、入学から卒業までの気になる数字を学部別に比較してみました。こちらからの細かい分析はあえて抜きにして、データのみをそのまま提示しています。それぞれの部署や立場でこの数字を見たとき、どんな気づきや感想がありましたか？



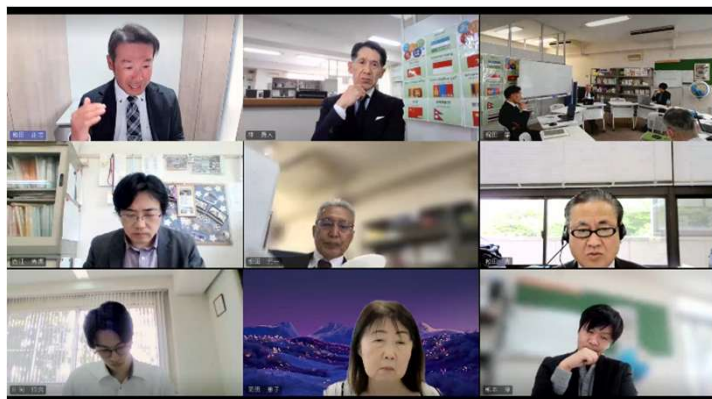
アカデミックプレゼンテーション大会が始まりました！



昨年度より「アカデミックプレゼンテーション大会」が始まりました。本大会は、大学で培った専門教育の成果を発表し、学びをさらに深めることを目的としています。現在、4年生は卒業論文に取り組んでおり、今年度の発表にも期待が高まります。

昨年度、経営学部では選出された4名の上田海杜さん、角田将太さん、渡邊梨央さん、ヤサス サダンジャナさんが2月19日に報告をおこないました。看護学部では2月24日に「重（かさね）」をテーマに開催され、ゼミ代表による発表の結果、渡辺彩花さんが1位、萩綾乃さんが2位、今井祐奈さんが3位となりました。

2026年度 第1回教学IR室 教職員座談会 より



5月12日（火）、教学改革のヒントを探るため、4月28日に発行された「IR室第49回レポート『推奨傾向の視点から見る2025年度卒業時アンケート』」をテーマにWebで意見交換をおこないました。座談会ではレポートのデータをもとに、主に以下の意見が交わされました。

- ・ 本学の強み（教員との距離の近さ）を活かした広報や教育の展開
- ・ クラブ活動や学生を取り巻く環境の現状と課題
- ・ 今後のアンケート手法の改善とデータ分析について

また、今後は学年の途中でもアンケートを実施したり、質問項目を細分化したりと調査手法自体を改善し、大学の教育的魅力をさらに高めていく必要があるとの認識が共有されました。

2025年度 グッドプラクティスFD研修会



左から、保育科 栗岡洋美 先生、看護学部 吉田 彩 先生、岸央子 先生、経営学部 熊本淳 先生、李瑾 先生、林勇人 学長

3月23日（月）、Zoomにて開催された「グッドプラクティスFD研修会」では、「学生の要望からみる学びの質向上」をテーマに掲げ、2025年度のグッドプラクティスに選出された各学部・学科の先生方と林学長をパネリストに迎えてディスカッションを実施しました。「学生はどんな授業を求めているのか」「どうすればもっと学習意欲を引き出せるのか」こうした教育現場のリアルな課題をめぐり、各現場で実践されている工夫やノウハウが幅広く共有され、大変充実した時間となりました。

パネリストとして貴重な実践事例をお話いただいた先生方、ならびに当日ご参加くださった教職員の皆さまには、心より御礼申し上げます。

今回の研修会で得られた気づきが、先生方のこれからの授業デザインや、職員の皆さまが日々の業務で学生と接する際のちょっとしたヒントになれば幸いです。REC・教学IR室では引き続き、より良い教育環境の実現に向けて、こうした取り組みを推進してまいります。

キラッと☆光る 先生紹介

グッドプラクティス受賞・李瑾先生インタビュー

「自分ごと」から生まれる学びと、多様な社会を生き抜く協働性

昨年度「グッドプラクティス」に選出された李瑾先生。学生の成長を我が事のように喜ぶ温かな眼差しが印象的な先生に、授業づくりの秘訣を伺いました。

授業の根底にあるのは、「学びの自分ごと化」だと言われていました。「初回に全体ゴールを共有した上で個人の目標を立て、学期の中盤と期末に到達度を振り返ります。この仕組みにより、学生は受け身ではなく自発的に学びます」

また、日々の指導では「小さな努力を見逃さない」ことを徹底。丁寧なフィードバックで学生に自身の成長を実感させ、寄り添い続けています。

「多様化する社会だからこそ、他者と力を合わせる『協働性』を育てたい」。未来を見据える李瑾先生の言葉には、教育への熱い想いが溢れていました！



第1回 学長ワークショップ

「キャンパス移転に伴う新たな学びの創出とレガシーの継承」—未来へ繋ぐ「本学の価値」を共に考える—



6月26日（金）、瑞浪キャンパスで第1回の学長ワークショップ（学長主導型の教学改革）を開催しました。保育科17名と経営学部1名の学生が参加して、キャンパス移転を機に、これからの本学にどのような価値が求められるかを考えました。ワークは、ワールドカフェ形式でおこなわれ、笑顔があふれ、多くの意見が寄せられました。中には、「学生・教職員の交流をもっと活発にしたい」といった、教職員にとっても考えさせられる意見がありました。今後も、このような取組を通じて教育の充実を進めていきます。学生のみなさんも、ぜひさまざまな意見を出し合いながら、これからの大学づくりに参加してください。

Information

9月 第2回 学長ワークショップ

9月11日 2026年度 第5回 合同IR研修会
共催校：九州共立大学・九州女子大学／九州女子短期大学・中京学院大学・文京学院大学・東京電機大学・仁愛大学

12月 第3回 学長ワークショップ

3月 第4回 学長ワークショップ

Bloomin' とは？

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、教学IR室の様々な発信が本学の発展につながるようお願いをこめてつけました。

教学IR室広報誌について、皆様の意見を参考に、より良いものを目指していきたいと思っております。



編集・発行



中京学院大学

教学IR室 広報誌 *Bloomin'* 第12号
2026年7月9日 発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林1-104
TEL : 0573-66-3121
URL : www.chukyogakuin-u.ac.jp
E-mail : ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp